

# 横浜市次世代育成に関する市民意識調査

## 【調査ご協力をお願い】

横浜市では、平成 17 年 4 月に子育て環境の整備を進めるための行動計画として『かがやけ横浜子どもプラン』（平成 17 年度～21 年度）を策定し、推進しています。この計画は、地域で子育て家庭を支え、子育ての意義や喜びを地域全体で共有できる仕組みづくりを進めることで、少しでも「少子化の流れ」を変え、次代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ「まち」よこはまを創っていくことを目指しています。

この計画は、次世代育成支援対策推進法に基づき、21 年度に後期計画（平成 22 年度～26 年度）を策定することとしており、このたび、子育て家庭の意識や支援ニーズ、サービスの利用状況等を把握し、後期計画策定のための基礎資料を得ることを目的として、調査を実施することにいたしました。

この調査は、横浜市が無作為に抽出した 18 歳以上の市民の方 10,000 人にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理され、調査の目的以外に使用することは一切ありません。

ご多忙のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、行動計画については、下記ホームページでご覧いただけます。

URL：<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo/action/plan/kodomoplan.html>

平成 20 年 1 1 月

横 浜 市

## 【ご記入にあたってのお願い】

1. アンケートには、**あなた(あて名の方)ご自身**のお考えで記入してください。無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。
2. ご回答いただいた内容は、個人が特定されたり、回答内容が他に漏れたり、統計上の目的以外に使用することは一切ありません。
3. お答えは、あてはまる**回答の数字を○で囲む**場合と、**マスの中に数字を記入**する場合があります。「その他」にあてはまるときは、「その他」の数字に○を付け、( )がある場合は具体的な内容を記入してください。
4. 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方だけにおたずねするものがありますので、**ことわり書きや矢印**に従って回答してください。
5. この調査は、ご回答いただくの**におおむね 15 分程度**かかります。ご多忙のことと存じますが、ご協力をお願いいたします。

ご記入いただきましたアンケートは、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて、**12月5日(金)**までにご投函ください（切手を貼る必要はありません）。

回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

横浜市こども青少年局 企画調整課 担当 大友、渋谷

電話 045-671-4281、FAX 045-663-8061



1. あなたのことについてお伺いします。

問1 年齢をお伺いします。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

問2 性別をお伺いします。(1つに○)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

問3 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

1. 青葉区	2. 旭区	3. 泉区	4. 磯子区
5. 神奈川区	6. 金沢区	7. 港南区	8. 港北区
9. 栄区	10. 瀬谷区	11. 都筑区	12. 鶴見区
13. 戸塚区	14. 中区	15. 西区	16. 保土ヶ谷区
17. 緑区	18. 南区		

問4 現在のお住まいは次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

1. 持家(一戸建て)	2. 持家(分譲マンション)
3. 民間の借家(一戸建て)	4. 民間の借家(賃貸マンション、アパート)
5. 公団・公社・公営の賃貸住宅	6. 社宅、公務員住宅などの給与住宅
7. 住み込み・寮・寄宿舎など	8. その他( )

問5 理想の住まいについて、どのように考えていますか。(3つまでに○)

1. 通勤に便利な場所で暮らしたい
2. 子どもの保育所や学校に通いやすい場所で暮らしたい
3. 交通の便がよく、買い物がしやすいなど便利なところで暮らしたい
4. コンビニや24時間営業スーパーの近くで暮らしたい
5. 多少交通の便が悪くても、緑が多いなど環境のいいところで暮らしたい
6. 近所づきあいができるところで暮らしたい
7. 子育てや介護がしやすいよう、実家の近くで暮らしたい
8. 医療機関の近くで暮らしたい
9. その他( )

問6 普段、近所の人とどのようなつきあい方をしていますか。(1つに○)

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 困ったとき相談したり、助け合ったりする | 2. 気のあった人と親しくしている |
| 3. たまに立ち話ぐらいはする        | 4. 会えばあいさつぐらいはする  |
| 5. 顔もよく知らない            |                   |

問7 結婚の状況についてお伺いします。(1つに○)

- |   |
|---|
| 1. 現在結婚しておらず、過去にも結婚したことがない                        |
| 2. 現在結婚していないが、過去に結婚したことがある                        |
| 3. 既婚(婚姻届を提出している)                                 |
| 4. 事実婚(婚姻届を提出していないが、事実上の婚姻関係があり、社会の慣習上婚姻と認められるもの) |

問8 現在、同居されている方についてお伺いします。(あてはまるものすべてに○)  
お子さんがいる場合は、お子さんの人数を記入してください。

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 親 →該当する方に○ ( 父・母・義理の父・義理の母 )    |
| 2. 配偶者                             |
| 3. 子ども → ( <input type="text"/> 人) |
| 4. きょうだい                           |
| 5. ひとり暮らし(同居なし)                    |
| 6. その他 ( <input type="text"/> )    |

問9 就労状況についてお伺いします。(1つに○)

- |              |                                 |          |
|--------------|---------------------------------|----------|
| 1. 常勤、フルタイム  | 2. パート・アルバイト                    | 3. 学生    |
| 4. 自営業・自由業   | 5. 内職・在宅就労                      | 6. 家事手伝い |
| 7. 専業主婦・専業主夫 | 8. 求職中                          | 9. 休職中   |
| 10. 無業       | 11. その他( <input type="text"/> ) |          |

問9-1 通勤(通学)にかかる時間はどのくらいですか。

<input type="text"/>	時間	<input type="text"/>	分
----------------------	----	----------------------	---

問10 あなたの年収は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

- |                   |                |                 |
|-------------------|----------------|-----------------|
| 1. 収入なし           | 2. 200万未満      | 3. 200~300万未満   |
| 4. 300~400万未満     | 5. 400~500万未満  | 6. 500~600万未満   |
| 7. 600~800万未満     | 8. 800~1000万未満 | 9. 1000~1200万未満 |
| 10. 1200万~1500万未満 | 11.1500万以上     |                 |

問11 世帯の年収は次のうちどれにあたりますか。(1つに○)

1. 収入なし	2. 200万未満	3. 200～300万未満
4. 300～400万未満	5. 400～500万未満	6. 500～600万未満
7. 600～800万未満	8. 800～1000万未満	9. 1000～1200万未満
10. 1200万～1500万未満	11.1500万以上	12.わからない

問12 あなたは、生活にどの程度満足していますか。(1つに○)

1. 満足	2. どちらかといえば満足
3. どちらでもない	4. どちらかといえば不満足
5. 不満足	

問13 現在、何か心配事や不安なことはありますか。(2つまでに○)

1. 自分の病気や老後のこと	2. 家族の健康や生活上の問題
3. 景気や生活費のこと	4. 犯罪や治安のこと
5. 子ども・子育てのこと	6. 仕事や職場のこと
7. 環境問題のこと	8. 自分や家族の将来設計のこと
9. 特に心配事や不安な事はない	10. その他( )

## 2. 子ども・子育てを取り巻く環境について

問14 少子化の背景について、どのようなことが考えられると思いますか。(3つまでに○)

1. 子育てにはお金がかかるから
2. 子育ては肉体的に大変だから
3. 子どもを持つと自由な時間がなくなるから
4. 治安や社会保障の面など、子どもの将来生きていく生活環境に不安が大きいから
5. 育児休暇、短時間勤務、復職支援など職場の支援環境が整っていないから
6. 保育施設が充実していないから
7. 保育施設以外の子育て支援施策が充分でないから
8. 出産や育児に不安を持つ人が増えているから
9. 核家族化が進み近くに親が住んでいないから
10. 結婚しない、できない人が増えているから
11. 結婚する年齢が遅い人が増えているから
12. 子どもを持たないという生き方も受け入れられる社会になったから
13. 地域や社会全体が子育てに理解がないから
14. わからない
15. その他( )

問15 晩婚化、未婚化の背景について、どのようなことが考えられると思いますか。（2つまでに○）

1. 独身の方が時間やお金を自由に使えるから
2. 結婚すると自分らしく自由に生きられなくなるから
3. 家事、育児に対する負担感、拘束感が大きいから
4. 仕事を続けるためには、独身の方が都合がよいから
5. 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上したから
6. 異性と知り合う時間や機会がないから
7. 相手の収入などの面で高望みをしているから
8. コミュニケーション力が低下し、ひとづきあいが苦手だから
9. 世帯を持つだけの経済力がないから
10. 親離れができていないから
11. 社会慣行として見合いが減少したから
12. 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなったから
13. わからない
14. その他( )

問16 最近の子どもについてどう思いますか。（3つまでに○）

1. 元気がなくなった
2. 習い事や塾に通うことが普通になり、忙しそうになった
3. 世代間の交流や年齢の違う子ども同士で遊ぶことが少なくなった
4. ボランティア活動など積極的に社会参加する子どもが増えた
5. 情報を収集し活用する能力が高くなった
6. 発想が豊かになった
7. 率直に意見を言えるようになった
8. 基本的な生活ルールやマナーを知らない子どもが増えた
9. 友だち感覚で、大人と子どもの区別がつかない子どもが増えた
10. 地域の大人にあいさつしなくなった
11. 忍耐力がなくなった
12. 自分が子どものころと変わらない

問17 子育てをされていて、または、まわりで子育てをしている人を見て、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いですか。（1つに○）

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 楽しさを感じる人が多い      | 2. どちらかといえば楽しさを感じる人が多い |
| 3. 楽しさと大変さを同じくらい感じる | 4. どちらかといえば大変さを感じる人が多い |
| 5. 大変さを感じる人が多い      |                        |

問18 子育てをされていて、または、まわりで子育てをしている人を見て、子育て家庭が地域社会から見守られている、支えられていると感じますか。(1つに○)

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. そう感じる     | 2. どちらかといえばそう感じる  |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえばそう感じない |
| 5. そう感じない    |                   |

問19 最近の子育てや子育て環境についてどう感じていますか。(3つまでに○)

- |                                     |
|-------------------------------------|
| 1. 子育てを支援する制度や施策が充実してきた             |
| 2. 父親が子育てに積極的に関わるようになった             |
| 3. 親の感じるストレスが大きくなった                 |
| 4. 家庭でのしつけが十分でなくなった                 |
| 5. 子育ての責任を保護者のみに求めがちになった            |
| 6. 子どもが安心して活動できる治安状況ではない            |
| 7. 施設や道路が子ども連れに配慮されていない             |
| 8. 地域に頼れる人(相談にのる、子どもを預かるなど) がいなくなった |
| 9. 子育てに関する情報が氾濫していて、正しい情報がわかりづらくなった |

問20 子どもを産み育てやすい社会にするために、どのようなことが重要だと思いますか。(2つまでに○)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 仕事と生活が両立できるような職場環境の整備         |
| 2. 保育所等の整備や、病児保育、休日保育などの充実       |
| 3. 子育てに関する相談の充実                  |
| 4. 親子で気軽に出かけられ、交流できる場の充実         |
| 5. 地域における助け合いの仕組みづくり             |
| 6. 産科・小児科医療の充実                   |
| 7. 児童手当や税制の見直し等による経済的支援の充実       |
| 8. 子育て支援施策を充実させるための子ども税や子ども保険の導入 |
| 9. 男性の育児参加の推進                    |
| 10. 子育てを社会全体で支援する必要性の啓発や気運の醸成    |
| 11. 若い世代に結婚や育児などの喜びや楽しさに関する啓発    |
| 12. その他( )                       |



#### 4. 就労観について

問23 職業について、AとBのような考え方がありますが、あなたはの考えはどちらに近いですか。（5段階で分けたときして、最も近い番号1つに○）

<記入例>	Aに近い	どちらともいえない			Bに近い	
A. 人は学歴や職業で人間を判断しがちだ	1	2	3	4	5	B. 人は学歴や職業で人間を判断しがちではない
A. 人は学歴や職業で人間を判断しがちだ	1	2	3	4	5	B. 人は学歴や職業で人間を判断しがちではない
A. 定年までひとつの職業を続けるべきだ	1	2	3	4	5	B. 状況によっては転職してもよい

問24 仕事や職業を持つには、どのような条件が整っていたほうがよいと思いますか。（3つまでに○）

1. 保育サービス(保育所・幼稚園・学童保育など)の充実	3. 家事代行サービスの充実
2. 高齢者介護サービス・施設の充実	5. 近くで働ける場の確保
4. 家族の理解・協力	7. 職業訓練の充実
6. 交通・通勤網の充実	9. 失業保険の充実
8. 仕事のあっ旋・相談の充実	
10. 労働時間の短縮	
11. 休暇制度の充実、取りにくさの解消	
12. 採用時の年齢制限の緩和	
13. 高齢者の働く機会の拡大や定年の延長	
14. 健康に配慮した職場環境の整備	
15. 仕事にみあう収入の保証	
16. その他( )	

問25 あなたは、職業を選ぶときにどのようなことを重視しますか、またはしましたか。（3つまでに○）

1. 家業であること	2. 収入	3. 労働時間
4. 通勤時間	5. 世の中のためになる	6. 職場の雰囲気
7. 独立できる	8. 自分に向いている	9. 専門知識や特技が活かせる
10. 責任のある仕事ができる	11. その仕事が好きだから	12. 将来性があること
13. 仕事が楽なこと	14. 転勤がないこと	15. 仕事・会社のイメージ
16. 福利厚生施設・制度	17. 子育てや介護と両立しやすいこと	
18. 特にない	19. その他( )	

問26 あなたは全体として今の仕事に満足しているほうですか、それとも不満のあるほうですか。(1つに○)

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1. 満足しているほう  | 2. やや満足しているほう |
| 3. どちらともいえない | 4. やや不満があるほう  |
| 5. 不満があるほう   | 6. 現在就業していない  |

**5. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について（18歳～49歳）**

問27 「仕事」と「家事・育児・介護」、「趣味などのプライベートな時間」について、あなたの理想に近いものはどれですか。(1つに○)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 仕事優先                   | 2. 家事など優先         |
| 3. プライベート優先               | 4. 仕事と家事などを優先     |
| 5. 仕事とプライベートを優先           | 6. 家事などとプライベートを優先 |
| 7. 仕事・家事など・プライベートを同じように優先 |                   |

問28 現実の時間の使い方はどのようになっていますか。(1つに○)

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| 1. 仕事優先                   | 2. 家事など優先         |
| 3. プライベート優先               | 4. 仕事と家事などを優先     |
| 5. 仕事とプライベートを優先           | 6. 家事などとプライベートを優先 |
| 7. 仕事・家事など・プライベートを同じように優先 |                   |

問29 仕事優先となりがちで、ワーク・ライフ・バランスを取りにくい人は、どのような理由からだと思いませんか。(2つまでに○)

- |                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| 1. 仕事全体の量が多いから                     |          |
| 2. その人にしかできない仕事があり、仕事に集中するから       |          |
| 3. 組織や個人の仕事の進め方にむだが多いから            |          |
| 4. 長時間働くことが評価される社風であり、評価や出世に影響するから |          |
| 5. 時間をかけても高い成果をあげたいと考える社員がいるから     |          |
| 6. 社員が上司や同僚の残業に付き合う慣習があるから         |          |
| 7. 上司や同僚の配慮がないから                   |          |
| 8. 同僚に迷惑を掛けたくないため                  | 9.その他( ) |

問30 男性の育児休暇の取得についてどのように考えていますか。(1つに○)

【男性の方はこちらの解答欄にお答え下さい】

- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. ぜひ取りたい         | 2. どちらかといえば取りたい |
| 3. どちらかといえば取りたくない | 4. 取りたくない       |
| 5. わからない          |                 |

【女性の方はこちらの解答欄にお答え下さい】

- |                     |                   |
|---------------------|-------------------|
| 1. ぜひ取ってほしい         | 2. どちらかといえば取ってほしい |
| 3. どちらかといえば取ってほしくない | 4. 取ってほしくない       |
| 5. わからない            |                   |

問31 現在の勤め先は、育児休暇の制度は使いやすい雰囲気ですか。(1つに○)

※男性も女性も、ご自身のことをお答えください。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. 使いやすい         | 2. どちらかといえば使いやすい |
| 3. どちらともいえない     |                  |
| 4. どちらかといえば使いにくい | 5. 使いにくい         |
| 6. 就労していない       | 7. わからない         |

→問31-1 問31で「4. どちらかといえば使いにくい」または「5. 使いにくい」を選ばれた方にお伺いします。なぜ使いにくいのでしょうか。(1つに○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 制度を利用すると業務遂行に支障が生じるから          |
| 2. 制度を利用することに対して、上司や同僚の理解が得られないから |
| 3. 制度を利用すると、同僚に迷惑がかかり心苦しいから       |
| 4. 制度を利用すると昇給、昇格に影響があるかもしれないから    |
| 5. 制度を利用すると、顧客に迷惑を与えるから           |
| 6. 制度の内容や手続き方法がよくわからないから          |
| 7. その他 ( )                        |

問32 仕事と子育ての両立のために企業(勤務先)にはどのような取組が必要だと思いますか。(2つまでに○)

- |                              |
|------------------------------|
| 1. 育児休業などの制度の充実              |
| 2. 会社の制度を従業員に積極的にPR          |
| 3. 上司や同僚の子育てへの理解             |
| 4. 育児休業などの制度を利用しやすい職場の雰囲気の醸成 |
| 5. 時間ではなく成果で仕事を評価する意識の浸透     |
| 6. 労働時間の短縮                   |
| 7. 職場での仕事の情報の共有化             |
| 8. その他( )                    |

問33 仕事と子育ての両立のために地域や行政にはどのような支援を望みますか。(2つまでに○)

- |   |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所等の整備や、病児保育・休日保育などの充実</li> <li>2. パートタイムでも育児休業が取りやすい労働条件の向上</li> <li>3. 児童手当や出産祝い金などの経済的支援の充実</li> <li>4. 家事代行サービスなどの充実</li> <li>5. 地域で緊急時に子どもを預かってくれるサービス</li> <li>6. 子どもだけで遊べる居場所づくりや、公園などの整備</li> <li>7. 子育てサークルなどの親の交流の機会や場の整備</li> <li>8. 企業に対する啓発活動の実施</li> <li>9. その他 ( )</li> </ol> |
|---|

**6. 結婚観について**

問34 結婚について、AとBのような考え方がありますが、あなたはの考えはどちらに近いですか。(あてはまる番号1つに○)

	Aに近い	どちらともいえない	Bに近い
<記入例> A. 一生結婚しなくてもよいと思う	1	2	3
			4
			5
			B. 結婚はしたほうがよいと思う
A. 一生結婚しなくてもよいと思う	1	2	3
			4
			5
			B. 結婚はしたほうがよいと思う

問35 結婚のよい点はどのようなことだとお考えになりますか。(2つまでに○)

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 精神的やすらぎがもてる</li> <li>2. 子どもや家族がもてる</li> <li>3. 愛情を感じている人と暮らせる</li> <li>4. 社会的信用を得られる</li> <li>5. 親や周囲の期待に応えられる</li> <li>6. 生活上便利</li> <li>7. 経済的余裕が持てる</li> <li>8. 親から独立できる</li> <li>9. ものごとを決めるときに配偶者に相談できる</li> <li>10. その他 ( )</li> </ol> |
|--|

問36 理想と考える、女性のライフコースはどのようなものですか。(1つに○)  
 ※男性もお答えください。

1. 結婚をせずに仕事を続ける
2. 結婚はするが、子どもは持たずに仕事を続ける
3. 結婚し、子どもを持っても仕事を続ける
4. 結婚を機に仕事をやめる
5. 出産を機に仕事をやめる
6. 出産を機に仕事をやめるが、子どもが大きくなったら再び仕事をする
7. 仕事はせずに家庭に入る

問36-1 理想と考える、女性の就労形態はどのようなものですか。(1つに○)

1. フルタイムによる就労
2. パートタイム、アルバイト等による就労

問37から問38は、未婚の方のみお答えください。現在結婚している方は問39へお進みください。

問37 結婚していないのはどのような理由でしょうか。(2つまでに○)

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. まだ若いから(学生だから)     | 2. 自由に使える時間やお金がなくなる     |
| 3. 生活のレベルや質が落ちる      | 4. やりたいことが制約される         |
| 5. 自分らしく自由に生きられなくなる  | 6. 仕事がしづらくなる、やめなくてはならない |
| 7. 恋愛が自由にできなくなる      | 8. 学業や仕事に打ち込みたい         |
| 9. 配偶者の家族扶養の責任が生まれる  | 10. 配偶者の考えに配慮することが煩わしい  |
| 11. 親元から離れなければならなくなる | 12. 親や周囲が同意しない          |
| 13. 適当な相手に出会わない      | 14. 異性とうまく付き合えない        |
| 15. 結婚に魅力を感じない       | 16. その他( )              |

問38 将来的に結婚はしたいですか。(1つに○)

1. 結婚したい
2. できれば結婚したい
3. できれば結婚したくない
4. 結婚はしたくない
5. わからない

問38-1 いつごろ結婚したいですか。(1つに○)

1. なるべく早く結婚したい
2. ある程度の年齢 →  歳までには結婚したい
3. 理想的な相手がみつければ結婚したい
4. まだわからない

ここからは、すべての人にお伺いします。

7. 出産及び子育てについて

問39 お子さんがいる方は、お子さんが生まれる前に、お子さんがいらっしやらない方は今までに、赤ちゃんのおむつをかえたり、食事をさせたりしたことがありますか。(1つに○)

1. ある	2. ない
-------	-------

問40 子どもを持つことについて、AとBのような考え方がありますが、あなたはの考えはどちらに近いですか。(あてはまる番号1つに○)

<記入例> A. 一生活どもを持たなくてもよいと思う	Aに近い	1	2	3	4	5	B. 子どもを持ったほうがよいと思う	
		-----						
A. 一生活どもを持たなくてもよいと思う	1	2	3	4	5	B. 子どもを持ったほうがよいと思う		
		-----						

現在、お子さんがいない方にお伺いします。

問41 将来子どもを持ちたいと思いますか。(1つに○)

1. 持ちたい	2. できれば持ちたい
3. できれば持ちたくない	4. 持ちたくない
5. わからない	

問41-1 いつ頃子どもを持ちたいと思いますか。(1つに○)

問41-3へ

1. すぐにも持ちたい	
2. 将来的には持ちたいが、しばらくは持ちたくない	
3. 自然の成り行きに任せる	
4. その他( )	

問41-2 あなたにとって理想的と考える子どもの人数は何人ですか。また、あなたは実際に何人の子どものつもりですか。(それぞれ1つに○)

理想的な子どもの人数	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人
	5. 5人	6. その他		
持つつもりの子どもの人数	1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人
	5. 5人	6. その他		

問41-3は、問41で「できれば持ちたくない」「持ちたくない」を選択した方と、問41-2で「理想的な子どもの人数」より「持つつもりの子どもの人数」が少なく回答した方にお伺いします。

問41-3 子どもを持ちたくないと思うのはどうしてですか。また、理想的な子どもの人数より、持つつもりの子どもの人数が少ないのはどうしてですか。（2つまでに○）

1. 出産・子育てに対する不安感や負担感が大きいから
2. 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
3. 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
4. 趣味などの自分の時間を大切にしたいから
5. 家が狭いから
6. 自分(配偶者)の年齢や体力に自信がないから
7. 自分(配偶者)の仕事に差し支えるなど職場の環境が整っていないから
8. 家族の子育てへの協力が得られないから
9. ほしいけれどできないから
10. 配偶者が望まないから
11. 定年退職までに、一番末の子が成人して欲しいから
12. その他( )

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

アンケートは、同封の返信用封筒に入れて、12月5日(金)までに投函してください（切手を貼る必要はありません）。

皆さまのご意見は、平成21年度に策定する『かがやけ横浜子どもプラン』後期計画に反映させてまいります。また調査結果については、後日こども青少年局ホームページ「ヨコハマはびねすぽっと」で公表予定です。  
<http://www.city.yokohama.jp/me/kodomo>